

しんあい

季刊



**社会福祉法人
多摩同胞会**

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL 042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。
<http://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧ください！

2016年(平成28年) 8月5日発行 第99号 ◆編集と発行 しんあい編集部



法人設立 70 周年を記念し植樹した 2 種類の桜の木の前で。子ども達はまだこの細い木が桜の木だとは花が咲くまで半信半疑のようです。(しらとり)

- | | |
|---|---|
| <p>泉苑</p> <ul style="list-style-type: none">・特別養護老人ホーム信愛泉苑・高齢者在宅サービスセンター <p style="text-align: center;">泉苑ケアセンター</p> <p>緑苑</p> <ul style="list-style-type: none">・養護老人ホーム信愛寮・特別養護老人ホーム信愛緑苑 <p>あさひ苑</p> <ul style="list-style-type: none">・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑・府中市立あさひ苑 <p style="text-align: center;">高齢者在宅サービスセンター</p> | <p>神田事業所</p> <ul style="list-style-type: none">・特別養護老人ホームかんだ連雀・かんだ連雀高齢者 <p style="text-align: center;">在宅サービスセンター</p> <ul style="list-style-type: none">・千代田区立岩本町ほほえみプラザ・千代田区立かがやきプラザ <p style="text-align: center;">相談センター</p> <p>児童福祉</p> <ul style="list-style-type: none">・子ども家庭支援センターしらとり・母子生活支援施設白鳥寮・母子生活支援施設網代ホームぎざな・府中市子ども家庭支援センターたち |
|---|---|

- ・新・介護保険を考える16
- ・2016スウェーデン研修報告
- ・役員及び評議員紹介
- ・施設だより
「カウントダウン」



新・介護保険 を考える 16

－社会福祉法人の変化 2 多摩同胞会の場合－

理事長 鈴木 恂子



前号(No.98)では社会福祉法の改正にあたり、社会福祉法人および社会福祉法人の施設・事業の変化についてたどってみました。今回は当法人を例にとってより具体的に整理することでその変化を具体的に明らかにするためにまとめました。

社会福祉法人は時代と社会の要請に応じて、変化し、発展し、地域に浸透してきたように思われますが、施策、制度によっても大きく左右されます。2000年の基礎構造改革、介護保険制度の施行は文字通り社会福祉法人を根底からくつがえすような大きな変革でした。それから16年経過した現在、介護にまつわる悲劇的な事件、事故、高齢者や子どもたちの貧困問題、孤立した高齢世帯やひとり親家庭、基礎構造改革の光が生み出す影ともいえる面が表にあらわれてきました。今回の社会福祉法の改正が影を解消する光となるのか、ますます社会福祉法人が混乱して統合や解体につながっていくのか、わかりません。社会福祉法人の原点に立ち返り、本来業務の確立と地域福祉の充実に努めていかなければと思います。

今年度に入り、当法人が新たに取り組む事業のなかから2つの事例をご紹介します。

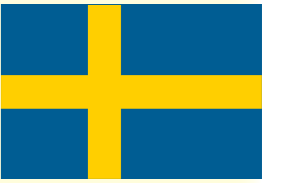
1. 介護保険制度の変更で2016年度から特養入所は原則要介護度3以上になりました。すでに申し込みされている要介護1、2の方の近況を把握せずに新制度に移行することはできません。今後は地域包括支援センターが積極的にフォローすることが必須になります。そこで特養の相談員と包括の相談員が連携してとりくみました（双方ともに専門職として守秘義務をもっていますので、個人情報の管理に配慮することは当然です）。その結果、介護度が変更している方、すでに住宅系施設に転居している方が多かったのですが、なかに即緊急対応が必要な老夫婦世帯もおられました。
2. 当法人は介護、子育て、両面から家族支援を目標としていますが、親の介護と子育てを抱える40代世帯の存在が複数明らかになり（いわゆるダブルケア）、府中地区で泉苑・あさひ苑・緑苑の3施設の地域包括支援センターと、しらとり・たっちの子育て支援センターが相互に事業内容の理解を深め、情報共有を開始しました。

社会福祉事業法	
収容 - 入所 - 措置施設	施設を拠点とする在宅サービスへの発展
1946年	1970年
<ul style="list-style-type: none"> ・1946年法人創設時は公の補助も少なく、創設者の私財やわずかな寄付金等で日々の生活がまかなわれていた。 ・生活保護費に準ずる事業費が入所者の食事、衣服にあてられ、職員の奉仕的な活動によって支えられていた。 ・老人福祉法等各種福祉法が成立し、公にかわって社会福祉法人が用地を提供し、施設建設する場合、国および東京都から基準面積×基準単価×3/4の建設補助が出るようになった。 ・措置費は事業費（直接処遇費）と事務費（人件費・管理費）に区分され、単年度に使い切ることが原則だった。 ・後に東京都は独自の援護費を補助したり、職員給与を公務員並みに公私格差是正事業を実施し、東京都の福祉水準をひきあげた。 ・直接処遇費にあたる事業費も最低生活の保障から教養娯楽費にあてられる文化的な生活を目指した予算が加わり単価が年々改善された。 ・国や東京都の施設協議会は毎年末になると入所者の生活改善や職員の給与水準を引き上げの予算獲得運動に取り組んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣食住を保障する養護老人ホームから、介護を必要とする老人福祉施設である特別養護老人ホームに老人福祉施設の主流が移る。 ・特養のニーズは年々高まり、各区・各市が建設を補助して積極的にベッドを確保した。 ・特養に在宅サービスセンターを併設し入浴サービス、ショートステイ、デイサービスを提供する。 ・在宅サービスは各区市の事業として位置付けられ、国・都の補助は区市を通して実施された。 ・在宅サービスを中心に、施設運営は国都との関係から、次第に所在地の区市との関係が強くなった。
法人創設から母子寮（現母子生活支援施設）・養護老人ホーム	施設に併設する在宅サービスセンター
1946年	1970年
<ul style="list-style-type: none"> 1946年12月 財団法人としてあきる野市（現）に網代母子寮を創設する（東京都の委託事業として運営する）。 1951年 社会福祉事業法の成立により社会福祉法人に組織変更する。 1953年12月 府中市（当時府中町）に網代母子寮の姉妹寮として白鳥寮を開設する。 1960年 養老施設信愛寮開設（定員：27名） 1963年 老人福祉法の成立に伴い、養護老人ホーム信愛寮（定員：142名）となる。 1975年 特別養護老人ホーム信愛泉苑開設。翌年より府中市全域を対象に入浴サービス、ショートステイを開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1980年 信愛泉苑の増築とともに高齢者在宅サービスセンターを併設。府中市高齢者福祉6エリア圏域の計画 1992年 在宅介護支援センター事業開始（府中市受託） 1993年 府中市立あさひ苑の受託（施設を拠点に24時間ホームヘルプサービス実施） 1994年 都道計画により用地の1/3が収用され、養護老人ホーム信愛寮は緑町に移転し、小規模特養併設養護老人ホーム（緑苑）。 1995年 白鳥寮全面改築。併設子ども家庭支援センター（相談とともにトワイライト、ショートステイ、緊急一時保護事業） 2000年以降 2003年 岩本町ほほえみプラザ開設（千代田区委託） 2004年 かんだ連雀の開設。たっちの受託。武蔵台エリアは「家族支援センター」になる。 2016年 千代田区かがやきプラザ相談センター受託。

※前号とあわせてご覧いただければ幸いです。

社会福祉法	
社会福祉法から介護保険法へ移行	社会福祉法等の一部を改正する法律
2000年	2016年
<ul style="list-style-type: none"> ・養護老人ホーム、母子生活支援施設等の措置費は継続されたが、三位一体の改革のなかで措置費も地方交付税に含まれ各区市の一般財源化されることになった。 ・区市の年度予算により入所枠が決定されるため措置の間口が厳しくなったといわれる。 ・介護に関わる特養や区市の委託事業だった各種在宅サービス事業の多くは保険給付に移行した。 ・介護度やサービス時間によって細分化した給付コードに基づく日々の実績を集計し、月単位で国保連に請求する（代理受領手続）。 ・契約制度のためサービス提供内容を事前に説明し同意を得る（一定期間ごとあるいは変化時に見直し）。 ・利用者負担（一割利用料・食費・居住費）は見直しのたびに増額している。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会貢献義務化に関する条文 第24条2項 社会福祉法人は、社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスを積極的に提供するように努めなければならない。 東京都社会福祉協議会の取組 ・東京都地域公益活動推進協議会の発足 ・広域連携事業「はたらくサポートとうきょう」（中間的就労促進事業）
介護保険制度への対応	多摩同胞会の地域公益活動（2016年4月現在）
2000年	2016年
<ul style="list-style-type: none"> 1997年12月介護保険法の成立により1998年度プロジェクトを立ち上げ、継承すべきことを明らかにしつつ介護保険制度に対応した。（以下抜粋） ・法人理念の明文化 ・法人財務指標を明確にして財務のバランスを構成する ・福祉型の経営をめざし、サービス向上システムと人材育成のサイクルを図示する ・事業の核となる人材育成を柱とする（組織活性化とキャリアパスにつながる人材育成と給与制度など人事制度の全体像） ・サービス提供部門である施設事業と、管理事務部門を集める事務局の役割分担体制とする。 ・法令遵守のため、法人拠点施設施設各事業を中心とする業務管理体制を明確にする。 ・常任委員会を中心に法人運営体制の強化をはかる。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉法人軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度における低所得者利用料負担軽減 2. 食事サービス <ul style="list-style-type: none"> ・見守り配食 ・昼食会 ・通所利用者持ち帰り夕食 3. 地域交流 <ul style="list-style-type: none"> ・体験ボランティア交流 ・法人セミナー ・安心シニア塾 ・安心地域づくりコース ・納涼祭・夏祭り等 ・地域行事へのボランティア参加・機器貸出 ・福祉まつり等参加 4. 地域拠点 <ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日体制（ワンストップ）包括連携 ・子育て相談 ・中高生の学習支援・居場所づくり ・災害時要支援避難施設 5. 住宅 <ul style="list-style-type: none"> ・サービス付高齢者住宅(福祉住宅・利用者負担軽減事業)等

（編集：法人事務局 青木 志乃）



2016

スウェーデン研修報告

スウェーデン・ヨーテボリ市にある「三つの財団」の施設で体験研修をはじめ今年で11回目となりました。今年度は、泉苑平良理絵子介護員と岩本町ほえみプラザ五十嵐容子相談員を派遣しました。研修施設のベガハウスはナーシングホームとグループホームのある高齢者住宅ですが今回もグループホームで現場実習をしました。通訳と研修コーディネーターはヨーテボリ在住の友子ハンソンさんにご協力をいただきました。



五十嵐さん グループホーム 三つの財団 平良さん
責任者 ディレクター
スザンヌさん モニカさん



スウェーデン研修スケジュール

1	5月22日	日	成田発 ヨーテボリ着 友子さんと研修打ち合わせ	
2	5月23日	月	ベガハウスにてスザンヌさんから施設 概要説明と見学・夕食歓迎会	
3	5月24日	火	ベガハウス、C1（認知症ケア）で実 習	
4	5月25日	水	ベガハウス、C1（認知症ケア）で実習・ 夕食歓迎会	
5	5月26日	木	ベガハウス、C1（認知症ケア）で実習・ 夕食歓迎会	
6	5月27日	金	モニカさんとの質疑応答・ ウルリカさんより、iPadの説明	
7	5月28日	土	ヨーテボリ発 ストックホルム着	：休日：
8	5月29日	日	自由行動	
9	5月30日	月	ストックホルム発	
10	5月31日	火	帰国（成田着）	



様々なプログラムが案内され、グループホームの利用者も参加されます。



音楽療法で使う人形。(中にIpadが入っている)



「出会いの場」と呼ばれている部屋。外で日光浴をしているのと同じ効果が得られます。



照明も暖かい色あいのものが使われています。

薬の管理にiPadの活用

岩本町ほえみプラザ

デイサービス総合相談

(介護福祉士・介護支援専門員) 五十嵐容子

今回、私たちは、ヨーテボリ市内にあるVega（高齢者住宅）のなかのグループホームで実習をしました。グループホームは中庭に面しており、目の前には色とりどりの花が咲き、その奥には食堂があります。食堂は地域に開放され一般の方も利用できる為、テラスから、人々の行き交う姿や話し声が自然に耳に入ってきます。室内においても地域と関わりが自然にできる環境にありました。

また、建物の一角に診療所があり、必要時は往診もしてもらえます。このグループホームではターミナルケアも行っているとのことでした。

そして、今回の研修で見ることができたのがiPadの活用です。研修以前より、iPadを生活支援の中で利用していることを伺っていたため、多摩同僚会でも参考にできるかどうかを考えました。

導入のきっかけは数年前、薬の予薬ミスや記録ミスが増えたことでした。現在はiPadで与薬を管理しています。

使用方法としては、iPadが各居室の入り口にそれぞれ1台ずつ、リビングにも1台設置してあります。

薬は各居室のカギつきロッカーで保管し、職員はiPadで与薬をチェックをしていくという方法でした。内服時間も2時間程度の範囲を設定し、その時間内にチェックが入らない（与薬していない）とアラーム音で知らせる仕組みになっていました。薬の管理は日本でも決してミスがあつてはいけない大切なことです。

多摩同僚会で同じように使用することは難しいかもしれませんが、書類の削減や、スタッフルームとの往復での確認作業の負担軽減等、検討できる部分もあるのではと思います。



グループホームのテラスから見える中庭。一般の方々が行き交います。



グループホームのダイニング。陽の光がさしこみます。



薬の入っている鍵付きロッカー。ここで薬の管理をします。

福祉機器の活用

泉苑

ホーム介護員（介護福祉士） 平良理絵子

スウェーデン研修に参加できることになり、まず私が興味を持ったのが福祉機器の活用です。スウェーデンは福祉機器を活用し、職員が直接介助することがあまりないということを知っていました。

研修先のベガCはグループホームでユニットに8名の利用者がおり、その中の3名の方が居室の天井にレールが敷いてある、吊り下げ式のリフトを使用していました。泉苑では介護度の高いご利用者を職員一人での介助ができる様に福祉用具を利用するのですが、スウェーデンではリフト使用も職員二人で介助をする形をとっている事に驚きました。

また泉苑では一日のスケジュールがきちり決められており、業務ありきの毎日が忙しく、福祉機器の活用に取り組むのも大変です。

「福祉機器の浸透に時間がかかりますか」と質問すると、「忙しいと思うけれど利用者の安全もあるし、自分達の負担も軽くなる。何故日本では機器を使用しないの?」と答えてくれました。

日本の方が細やかな対応をしているなど感じる場面も多々あり、自分の介護に自信を持つことができました。今回の研修に参加し、世界には様々な介護があるということがわかりました。

私はスウェーデンと日本の介護の良い所を併せた介護が出来る職員になりたいと思います。この経験をこれからの業務に活かしたいと思います。



認知症の方が落ち着くオレンジ系の色づかいがされています。



各居室はシャワールームがついています。



ユニットのフロアごとのキッチンで朝食の準備を手伝いました。

役員および評議員のご紹介

2年間の任期満了にともない役員（理事・監事）と評議員の改選が行われ、平成28年7月23日より新体制となりました。

今回の改選では監事の2名が新たに選任され、関前監事が評議員に選任されました。7月23日に開催された第

286回理事会において、理事長には鈴木恂子理事が再任されました。

平成11年の評議員発足当時より緑苑運営協議会から選出されていた橋本巖評議員が4月10日に急逝されました。一同で謹んでご冥福をお祈りし、黙祷しました。

就任にあたって

理事長 鈴木 恂子

平成二十八年七月二十三日の理事会に於いて理事長に選任されました。平成二十四年七月に坂本名誉理事長に変わって三期目となります。多難な日々ではありますが、微力を尽くして参ります。

本年三月三十一日に改正社会福祉法が成立し公益法人と同様な経営組織となります。評議員会を議決機関とし、理事会は執行機関となります。また、一定規模以上の社会福祉法人は会計監査人をおくことや地域における公益的活動や情報開示などが義務化されました。

今年度内に省令等が示され、定款を変更して評議員会にて役員の数や任期を明確にすることになります。

今回の改選期にあたっては監事さん以外の理事、評議員さんの留任が決定いたしました。来年度にかけてまた新しいうごきが予測されます。

今期ご就任の役員、評議員の皆様にもこうした状況の中ご面倒をおかけいたしますが、変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様におかれましても今期どうぞよろしくお願い申し上げます。

◆理事（10名）

- 鈴木恂子（理事長）
- 石川國雄（常務理事・事務局長）
- 小笠原祐次（常任委員）
- 板垣光繁（常任委員）
- 佐藤昌美（常任委員）
- 内野滋雄
- 相羽孝昭
- 田口俊夫
- 鈴木龍一郎
- 坂本卓穂

◆監事（2名）

- 松岡一臣（財務担当）（新任）
- 平野耕市（事業担当）（新任）



◆評議員（21名）（選出母体）

- 鈴木恂子（理事長・常任委員）
- 石川國雄（常務理事・事務局長）
- 小笠原祐次（理事・常任委員）
- 板垣光繁（理事・常任委員）
- 松原康雄（明治学院大学学長）
- 鳥羽美香（文京学院大学教授）
- 梅澤一太（千代田区社会福祉協議会）
- 見田野一太（府中市社会福祉協議会）
- 石井宏（泉苑運営協議会）
- 江田廣子（泉苑運営協議会）
- 高澤久美子（緑苑運営協議会）
- 石波榎子（あさひ苑運営協議会）
- 岡美奈子（あさひ苑運営協議会）
- 堀田康彦（かんだ連雀運営協議会）
- 吉田允俊（岩本町ほほえみプラザ運営協議会）
- 岸豊子（網代ホームきずな運営協議会）
- 永井文子（しらとり運営協議会）
- 関道子（元緑苑施設長）（新任）
- 福岡重男（施設長）
- 松崎哲也（施設長）
- 近藤政晴（施設長）



退任された監事へ理事長から退任謝礼をお渡ししました。

施設だより

99号カウントダウン

泉苑

100歳のちから

泉苑には、元気なお年寄りの方が大勢いらっしゃいます。その中で、特に元気の良い御年99歳のM様。皆から愛されるお茶目なM様は、「私は大正5年生まれのおばあちゃんです。凄なおばあちゃんですよ。私はもう100歳だから」と言われ職員が「まだ99歳ですよ」と返答すると「四捨五入で100歳なのよ」と笑いながら答えて下さいます。またある日には、天気の良い日に「こんな天気の良い日は、デートでもしましょ」と言われ職員が「M様からデートに誘われるなんて私はなんて幸せ者なんだ」と答えると投げキッスをして下さいます。他にも職員が入浴のお誘いに来ると「ちょっとニュー YORK（入浴）へ行ってきます」と言われ職員が「お土産はいりませんよ」とお答えすると「あら。残念。土産話でもあげるわ」と甲高い声で大笑いして下さいます。

そんな元気の良いM様の周りにはいつも笑いが絶えません。M様とお話すると他の利用者のみならず職員も元気になります。

そんなM様も11月で100歳です。今までM様からいただいた癒し・笑いのお返しに盛大に100歳のお祝いをさせて頂いたと思うっています。M様、楽しみにしてて下さいね。

ホーム2階（介護福祉士） 木田 義広



緑苑

創作意欲みなぎる

緑苑では毎年10月に「みどり展」を開催しています。ご利用者や近隣の方、ボランティアさん、職員が手掛けた絵画、編み物、紙の作品などを施設内に展示し、みなさんにご覧いただくという企画です。

養護老人ホーム信愛寮ではこの日に向け、出展する作品の創作に励むご利用者の姿を見かける時期となりました。

ご利用者のTさんも、その中のお一人。Tさんは信愛寮に入所された年、作品2点を展示してくださいました。それは非常に細かくできた素晴らしい切り絵でした。「これからも、創作活動を続けたい」と笑顔を見せてくれたTさん。その後体調を崩され長く闘病生活を送られていましたが、退院をされてからは元気に創作に励まれています。「治療の薬のせいで手が震える事がありますが、無理せずマイペースに頑張ります」と茶目っ気たっぷりに笑顔を見せてくれていました。

今年のみどり展まではまだ日はありますが、出展する「作家」の皆さんはすでにカウントダウンが始まっています。作成中は何時間も集中され疲れてしまう事があるので、休憩されるよう声をかけることもあります。休憩を取りながら作成できるようサポートいたします。

みなさま、「みどり展」には是非お越しください。様々な思いが詰まった作品の数々を、ぜひご覧ください。

養護支援員 佐藤 晶彦



昭和57年創刊の「季刊しんあい」も、記念すべき100号まで残すところ1号となりました。そこで今号は、各施設、カウントダウンや数字（年齢等）に困った話題をお届けします。

きずな

「まだか、まだか」 の99日間

きずなファーム（施設の畑）では、これまでにジャガイモやサツマイモ等を栽培してきました。3年前より地元ボランティアの方の指導を受けながらトウモロコシを栽培しています。畑を耕し、肥料をまき下準備を十分に行い種をまきます。ここから、子どもと職員の間で収穫までのカウントダウン（約99日間）が始まります。

炎天下の中、

雑草や害虫と対峙しながら「まだか、まだか」と思いを込めて手入れをしていきます。大事に育てるほど、収穫して食べた時の喜びや美味しさが増します。



子どもたちと手入れの厳しさをのりこえ、その先に大収穫が待っていると信じ、コツコツと頑張っていきたいと思っています。

（少年指導員） 小室 憲司

しらとり

いついくの…まだ…？ のあとにも

厳しい暑さではありますが、子どもたちは暑さに負けず元気いっぱい遊び、夏休みを満喫しています。夏休みは学童でも家庭でもイベントが目白押し、水遊びに花火、学校のプール、楽しく忙しい日々子どもたちの笑顔もキラキラしています。特に宿泊も伴うキャンプ行事は子どもたちにとって特別なイベントです。今年はきれいな川が



近くに流れているキャンプ場で宿泊を予定しているのですが、先日下見に行った話を子どもたちにすると、「早くいきたいー」「いついくの？まだ？？」と待ちきれない様子で、とても楽しみにしていました。

ですが…夏休みが進むにつれ出てくる宿題問題。カウントダウンが始まります。夏休みの宿題を夏休み中に終わらせることができるか、そして子どもたちの宿題を全て終わらせなければならない大人側のタイムリミットが迫ってきます。

残りの日々を子どもたちにとって楽しい思い出となるように自分自身も子どもたちと過ごす夏休みを大切に過ごしていこうと思います。

（少年指導員） 宮田 貴之

あさひ苑

継続

99号おめでとごさいます。継続は力なりという言葉がありますが、私の好きな言葉です。

現在、認知症対応型通所介護を担当していますが、継続する力をご利用者から学んでいます。カルタやパターゴルフゲーム等、毎日繰り返すことで皆さん日々上達されています。たった3カ月でも10球中0から3球も入るようになります。日々の積み重ねの大切さを実感しています。継続するためにはまた力も大切です。

怪我をしなければ立つことも難しく、一歩すら歩けない事に。先を見て焦る事も沢山ありますが、目の前を一步ずつ…それがいつしか長い足跡となると信じて。

これからも力を付けて、継続出来る様に頑張っていきたいと思っています。



認知症対応型通所介護 相談員
（介護福祉士・介護支援専門員） 伊藤 美穂子

連雀

とも歳を重ね？ あと少し

かんだ連雀デイサービスには、2年後に99歳を迎える大正8年生まれのお二人がご利用者です。同じ曜日に来られているお二人は、「あら、私達同じ年みたいよ。頑張りましょうね」と熱い握手を交わしておられました。

ご利用者同士の会話の中でも、年齢のお話がよく聞かれます。「あなた何年生まれ？」「あら、まだ若いじゃない」「私なんてもうおばあちゃんよ」と、お互い励まし合いつつ、褒め合いつつ、会話を楽しまれています。

「デイサービスで一番の高齢者になる」「東京オリンピックまでは頑張るわ」「100歳まで生きるよ」と皆さん、熱い想いを持ちながらデイサービスに通われています。そんなご利用者さんの気持ちを汲み、日々の時間を充実したものにしたいだけよう職員も精進しながら共に歳を重ねていければと思います。

デイサービス

（介護福祉士）

増田香織



たっち

お楽しみまで あと20日!!

暑い夏を迎えたこの時期。交流ひろばに遊びに来る子ども達は口をそろえて「あれ！やりたーい！」と言います。「あれ」とは、夏休みの時期限定の「シールラリー」です。遊びのコーナーごとにテーマを設定し、クリアできたらシールを貼っていく、全部集まったらスタンプを押せるというものです。夢中になると、涼しい室内でも汗をかいて張り切っている姿も見られます。大きいお子さんとテーマを自分で読むこともできますし、妹や弟に優しくテーマを伝えてくれる微笑ましい姿も見られます。

7月に入った頃から、「いつになったら始まるの？」「今年もある？」という声も聞かれました。シールラリーが始まる日までのカウントダウンがいよいよスタート。さて、今年はどうなテーマに子ども達が挑戦するのか？見守る大人も子ども達の喜び表情を見守るまでの、楽しみなカウントダウンが始まりました。

交流ひろば担当

（保育士）

野中 意



岩本町

帰る日は？

ショートステイのご利用者へ、よく聞かれる言葉です。

1週間ほどで帰られる方もいれば、2週間3週間利用される方もいらっしゃいます。

「私が帰る日はいつですか？」「あー○日で帰る日なんですわ」

と、帰る日までのカウントダウンがスタートしています。

一人暮らしのMさんも「私が帰るのは○日よね」と職員に声をかけます。

帰る日が近づくにつれて「もうさっさと帰らなきゃいけないのね」と少し寂しくなつて。

「家に帰っちゃうと誰もいないから、ここで皆とお話して、美味しいごはんを食べるほうが楽しいわ」

「ここにいるほうがいい」そう思っていただけのこと、思っていただけのこと、職員には嬉しく、また、励みになります。

ご利用者の皆さんにそう思っていただけのこと、これからもがんばらねば、と決意するのです。

ショートステイ（介護福祉士） 高橋 和博



ニュース

泉苑認知症対応型 デイサービス リニューアル

泉苑の敷地内にある建物を大掃
除して、認知症対応型通所介護の
サービス提供を6月より行うこと
となりました。

施設内でのサービスと違い、普
通の家庭的な雰囲気の中で活動を
することが出来ます。ちよつとし
た縁側や庭もあります。定員は10
名ですが、その人数の少なさを活
かした個別の対応や個々の力を引
き出せる活動ができるように取り
組んでいます。関わりを深めなが
ら、そのご利用者の好きなこと・
嫌いなこと・大切にしているこ
と・こだわりなど、色々な面を受
け止めていけたらと考えています。
先日行った家族懇談会では、「活
動が変わったことで、今までは、
家であまりしゃべらなかつたけど、
言葉が出るようになった」とお話
しをいただくことができました。
これからもその方にあった「寄り
添ったケア」を提供できたらと思
います。

(泉苑次長 今福 崇)



御寄贈・御寄付ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

大沢良三 国際ソロプチミストあきる野 小暮智子 後藤正利 CITEクソソリエーションズ セカンドハーベ
スト・ジヤパン 千代田区社会福祉協議会 野中正治 東神田町会 (株) フジモトHD フランスベッド(株)
ディカル 西東京営業所 三菱商事株式会社MCボランティア事務局 宮内育子 健康麻雀の集い「無垢の会」
明治神宮崇敬会 明治神宮崇敬会府中支部婦人部 弓削田恵美子 吉村綾子 (株) レイアアップ
(2016年4月〜2016年6月)

ボランティアの御協力ありがとうございます(敬称を省略させていただきます)

会田久枝 青野まり 赤林好子 網代恵美 荒井迪子
荒波智子 有本陽子 飯田志子 飯塚喜美子 開基
を築しむ会 伊澤美紀子 石井久子 石井宏 石坂勝
世 石坂規容子 石坂トメヨ 石澤圭子 伊集院棋津
子 市川アイ子 市川知子 一歩の会 稲垣清美 井
上智美 今喜多トシエ 岩崎順 岩崎敏信 植松八千
代 魚川桂子 内堀美喜 梅原治代 梅原薫 梅原光
洋 卜部和子 上床晃代 NEC吹奏楽部 遠藤伊代
遠藤みつよ 大川久美子 大倉弘子 大島庸子 太
田久美子 大谷武生 大野文子 大山夏樹 大類浩平
岡田基子 小川健治 萩野和子 奥山亜子 奥山チ
ヤ子 小倉富子 オコサの会 尾崎節子 尾崎絃之
尾崎靖宣 尾崎ヨシ子 音楽園 おはなし夢くらぶ
思い出童謡の会 折田浩一 海江田紀久子 笠間豊子
鹿島キチ 鹿島千重子 梶山アサミ 鮎野美千代
片桐キミ子 カットサロンアベ 加藤静 加藤規子
加藤美美子 加藤洋子 金指真美 金子武仁 上沢美
和子 亀岡紀知信 川崎雅人 川村智子 きずけ合唱
団 北島美恵子 木谷教子 北村よしこ 木森智 清
田敏子 草野美鈴 具嶋郁子 國定毅 久保田摩耶子
蔵内睦子 栗原宏子 弦間まさ 小石睦子 小出農
一 小出由美子 小岩井雅人 小島ユミ子 小島百合
子 後藤祐輝 小林幸代 小林照子 小林真弓 小林
道子 小林美代子 小林わか子 駒ヶ嶺泰秀 是永美
代子 今野幸子 斎藤孝子 斎藤智恵子 斎藤千枝子
酒井和子 坂井香奈絵 坂本越子 佐久間桂子 さ
くらんぼ保育園 佐々木英子 佐治美枝子 佐藤イソ
佐藤公子 佐藤妙子 佐藤なかり 佐野田鶴子 椎
名君代 塩澤佳津子 重田文子 品田啓子 島田たず
清水文枝 清水光子 下江美鈴 下宏子 新村信子
杉本節子 杉山恵子 鈴木暉子 鈴木好枝 スターバ
ックスコーヒー 瀬戸貞子 浅間の森ハンドベルの集

い 高井汪子 高橋恭子 高橋ちよ子 竹内由美子
竹松ふく 田島みよ 田中久美子 谷野みよ子 田部
美智子 多摩スマイル吹奏楽団 田村知江子 丹野由
紀子 千葉よし 土屋とき枝 堤明 寺町律子 東郷
實枝子 東芝ブルーバース 戸島正子 枅谷さき
富田秀子 とんとんぱつ 内藤美枝子 中垣春代
長島広美 中野渡とみ子 中村清美 中村フサ子 中
村美佐江 中村靖子 中村恭俊 中山寿美 那須史子
西久保長子 西村珠美 二宮澄子 野坂昭弘 野坂
晃代 榎崎聖子 能登すみ子 橋幸子 橋場昭 橋本
巖 橋本節子 馬場正子 早矢仕房男 原田勝彦 原
田君枝 原田園彦 原田康子 原俊江 東山順子 樋
口よし子 肥後住江 平泉順子 平岡美津子 平沢和
代 広木さく江 福田佐代子 福田トミエ 藤澤キエ
藤田京子 船岡栄子 舟見三佐子 ふれあいクラブ
浅間 保坂良子 星野若佐 細木南美 堀田武三郎
孫田一昭 政所優季 町田知行 松沢信子 松下朗
松下健 松田恵子 松野アイ 松本紀子 真山京子
丸田のぶ子 三坂和子 三輪孝子 壬生みつ子 宮崎
清子 宮崎嘉子 宮下美智子 明神淑恵 村井福子
村野豊子 明治安田生命 モダンバレエ「アリス」
本野幸子 桃井朝子 百瀬洋子 母里英子 森脇敦子
八重の会 谷貝祥子 矢崎英子 山崎キヌ子 山田
一丸 山田佳津江 山田ケイ子 山田順子 山野栄治
山本峯子 鐘浦千寿子 ゆうかファミリー ユーロ
クリア・バンク 横尾美知子 吉岡秋夫 吉田恒雄
吉田ヒサ子 吉田睦子 米山秀子 るりまつりの会
朗誦赤十字奉仕団 脇山令子 和田風雄 渡辺勇 渡
辺勝征 渡辺久代 渡邊弘子 渡辺浩美 渡邊房子
渡辺守

(2016年4月〜2016年6月)

編集後記

☆新編集委員よりご挨拶
今年度より季刊しんあいの編
集に携わることになりました。
よろしく願います。
(かんだ連雀 栗沢尚広)

入職して7年。まだまだ知
らない事がたくさんあります。
よろしく願いました。
(岩本 木村優佳)

皆さんと協力し合いながら
できればと思っています。よ
ろしく願います。
(緑苑 齋藤純子)

夏の暑さに負けず自転車を
漕いで行きたいと思えます！
よろしく願いました。
(あさひ苑 西毅)

毎日とっても賑やかな「た
つちの夏」、今年も元気に乗
り切りたいです！
(たつち 星野幸子)

たくさんのごことを吸収して、
法人のことをより理解できた
らと思います。よろしく願
います。
(きずな 今野晴香)

☆前年度から引き続き担当
する編集委員より
蝉の抜け殻の見分け方をマ
スターすることを今年の夏の
密かな目標にしています。
(しらとり 山中有佳)

今年は何年日?のしんあ
い委員ですが、一つ一つのこ
とを丁寧に、地域に発信
していきたいです。
(泉苑 岩淵研哉)

これから暑い日々が多くな
ってきますが夏バテになら
ずに今年の夏を乗り切れたらと
思います。
(泉苑 青木美沙子)

編集担当2年目となります。
法人の取り組みを皆様に分か
りやすく伝えていければと思
います。
(あさひ苑 永井厚輔)

これから夏本番。夏と言え
ば花火!毎年必ず1回は花火
大会に出かけます。今年はず
きただけ多くの花火大会に出
かけます!
(事務局 一色瑞生)

社会福祉法人の広報や情報
発信のあるべき姿を模索しな
がら、今年度も編集委員をつ
とめていきます。
(事務局 青木志乃)

介護に関するご相談は 無料ダイヤルで!

●泉苑
0120-6540-24
老後支援 24時間

●あさひ苑
0120-2942-24
福祉にっこり 24時間



多摩同胞会の
ホームページを
携帯でもどうぞ!